

つなぐ

八代市地域学校協働本部（生涯学習課内）

令和3年10月12日(火)発行 ☎0965-30-1110

令和3年度八代市地域学校協働活動第1回地域コーディネーター連絡調整会議を開催しました。

9月28日（火）午前10時から、八代市公民館において地域コーディネーター18名に参加いただき、協働本部主催の連絡調整会議を開催しました。諸連絡（ボランティア人材バンクの活用・まなびフェスタ展示作品募集・「地域の人づくり講座」参加案内）後に協議に入り、地域学校協働活動実施上の課題解決に向けて、テーマごとに班別協議、情報交換を行いました。



テーマは「学校と地域は連携が取れていますか?」「学校の誰（先生）、地域の誰と連携をとればよいですか?」「ボランティア人材バンクの登録してほしい人材・団体はありますか?」「コロナ禍での活動はどんなですか?」「連絡調整会議をオンライン会議にしてもいいですか?」

活動が軌道に乗っている学校もあれば、これからの学校もあり悩みはそれぞれ違いますが、いろいろな活動や悩みを地域コーディネーターどうして共有でき、貴重な時間となりました。

令和3年度熊本県「地域の人づくり講座」(八代教室) 第1回を開催しました。



10月5日（火）午前10時から、八代市公民館において地域コーディネーター、地域婦人会、社会教育委員に参加いただき、県及び八代市教育委員会主催の「地域の人づくり講座」を開催しました。

今回は内閣府地域活性化伝道師の三角幸三先生を講師に招き、「地域と学校の連携～CSMAPで計画づくりと評価～」と題して、地域学校協働活動の目標やボランティアの定義や形態等の講義に加え、年間指導計画に地域人材を埋め込んでいくCSMAP（コミュニティスクール・マネジメント・アクティビティー・プログラム）の作成をしたり、活動の悩み相談についての回答を班ごとに協議したり参加型の研修が行われました。

具体的な事例をもとに作成された研修プログラムで、参加者からも日頃悩んでいる課題に沿った身近な事例でとても参考になったという声をたくさん聞きました。

活動紹介 《地域未来塾》

地域学校協働活動の一つの事業である「地域未来塾」は、学習習慣が未定着である生徒や深く学びたいと感じている生徒に対して、放課後の時間等を利用した補充学習や発展学習を行い、生徒の学びを保障するものです。今年度は、一中、三中、四中、六中、日奈久中（夏休み特設）、二見中、鏡中で実施、生徒から学習者を募ったり、不登校傾向の別室登校者を対象にしたり、それぞれの学校の実態に合わせて対象者の学びの保障を図っていただいています。

9月22日(水)、四中を訪問させてもらい、学習の様子を見せてもらいました。運動会が終わったばかりでしたが、疲れた様子もなく、楽しそうに生徒たちが取り組んでいました。各学年によって人



[1年生]



[2年生]



[3年生]

数や雰囲気の違い、学習支援員さんたちもそれに合わせてたいへん工夫されていました。生徒たちには、これからもこの機会を大事にして活用してもらいたいものです。

活動紹介 《様々な学校協力活動》

《代陽小学校・車いす体験》

9月30日、まん延防止等重点措置が解除され、引き続き感染防止対策を徹底しながらも、少しずつ地域学校協働活動も軌道に乗りつつあるようです。さっそく、10月6日(水)代陽小学校の4年2組の“車いす体験”の授業に6人のサポーターの一人として参加させていただきました。当日は秋晴れ(帽子と水筒をしっかりと準備)2校時と3校時の2時間、アーケードに移動をして、福祉協議会の協力のもと、車いすに乗ったり、アイマスクをつけて点字ブロックを歩いたり、実際に体験することでたくさんの学びができたようです。まだまだ十分に障がい者のことを理解できたわけではありませんが、考えるきっかけにはなったと思います。ただ、きっと点字ブロックにものを置いたり、自転車を置いたりすることはないと感じました。



校長室で地域コーディネーターとサポーターと校長との打ち合わせ



サポーターが見守りながら本町アーケードへ移動



福祉協議会の方から車いすの扱い方や目の不自由な方の誘導の仕方を聞き、二人一組で体験



八代市地域学校協働活動ボランティア人材バンク登録者紹介 [第1回]

前はボランティアの募集をお願いしました。これからは、人材バンクを活用してもらうためにボランティア登録者を紹介していきたいと思います。今回は「やっちょろやっ隊」西代目会長 武部小太郎さん(中華料理太楼)を紹介します。

①やっちょろやっ隊とはどんな組織？

2009年、若手の飲食店経営者が「食から地域を元気に！」をスローガンに誕生した団体です。現在メンバーには地元飲食店経営者・農業生産者など約15店舗・20名ほどが在籍しており、市内の学校へ出向き料理教室、食育講座や地元はもちろん県内外のイベントに出店するなどいろいろな活動に積極的に参加しています。

《右側が武部小太郎さん》



②最近、学校へ出向いて行った経験は？

やっちょろやっ隊としては、昨年、八代中学校の食育講話に行きました。コロナ禍で体育館での授業でしたが講師は3名、私はトップバッターで話をしました。過去には七中や東陽中にも行ってます。

個人としては母校の三中に食育のゲストティーチャーとして何度か行かせてもらっています。最初はとても緊張しました。後輩たちに興味を持ってもらうためにはどうしたらいいか悩みましたが、自分の経験(学生時代に柔道でオリンピックに同行したことや中国に留学したことなど)を交えて食の大切さを伝えています。

③今後の抱負は？

「食から地域を元気に！」という思いは強く持っています。しかしコロナ禍の中、食のイベントでは地域を元気にするのは難しい。そこで、コロナ禍で移動が制限され、楽しみが少なくなった今こそ、イベントを工夫して地域の人たちを元気にしたいと考えています。

個人的には、県外の友人たちがわざわざ「中華料理太楼」の料理を食べに来てくれ、とても感謝しています。今後は、八代ならではの名物料理を作り、多くの人に食べてもらえたらいいなと思っています。

※令和3年10月12日現在、やっちょろやっ隊から8つの個人・団体を人材バンクに登録してもらっています。食育や職場体験の受け入れに協力いただけるということです。